



# 福島医大病院ニュースレター

編集・発行/附属病院患者サービス向上委員会

第2号

発行日 平成19年11月20日

## 1. 副院長より 県民に信頼される医療にむけて



副院長 竹之下 誠 一

現在医科大学病院は、平成15年10月に始まった「県民に信頼される医療」の実現にむけて、1)病棟・外来の臓器別診療体制への再編、2) (財)日本医療機能評価機構の病院機能評価受審、3)病院機能の充実(女性外来設置、第一種感染症指定医療機関の指定、救命救急センターの指定、地域・家庭医療部の設置)等の目標を掲げ、ここ数年にわたる職員一同懸命な努力により、それぞれほぼ予定通りに実行されつつあります。この一連の改革の流れの中で、

治験センター開設、がん拠点病院(臨床腫瘍センター開設)認定、がんプロフェッショナル育成プラン採択など、今後の医科大学としての発展にかかせない大きなプロジェクトも肅々と達成してまいりました。しかし、この間、常に院内のどこかで行われている改修工事あるいは一部病棟閉鎖やたび重なる病棟移動など患者さんをはじめ多くの方々に多大なるご迷惑をかけてまいりました。紙面をお借り致しまして、お詫び申し上げます。加えまして、ごく最近まとめました患者さんからの不満でも、①病院の施設や設備に関すること、②職員の接遇設備に関すること、③病院のシステム設備に関することが多いようです。これらの問題を解決するためそれぞれ専門チームを作って検討しております。できることからなるべく早急に対応し、よりよい病院に向けて総力を結集してまいりますので、今後ともご協力の程よろしくお願い申し上げます。

## 2. マンモグラフィ施設認定試験に合格!

ここ数年来、乳癌の若年化が進み、医療界としても早期発見に努力してまいりました。近年乳癌検診、特にマンモグラフィの重要性が皆様に理解され受診者が増加しているのは喜ばしいことです。検診、治療の専門家の養成も全国で毎年定期的に講習・試験があり当院でも合格した医師、技師共に数年前より多数在籍していました。今回施設も整備を進めマンモグラフィ検診精度管理委員会(精中委)による施設認定試験に合格いたしました。今後さらに県民の皆様の乳癌の早期発見に努力する所存であります。



## 3. 肺がん診断率の向上を目指して — 仮想内視鏡を活用した気管支鏡のリアルタイムナビゲーションシステムの開発 —

呼吸器内科学講座

石田 卓、棟方 充

気管支鏡は組織検体を採取することができる検査であり、組織・細胞が確実に採取できれば肺がんの確定診断が可能です。しかし末梢で小さい病変に確実に到達することは容易ではありません。気管支は末梢に向けてどんどん枝分かれしていきます。ですからひとたび間違った分岐に内視鏡を挿入してしまうと、末梢に行くほど目的の病変から離れていってしまいます。このためせっかく検査をしても目的の検体がうまく採取できないことがあります。

気管支の中には内視鏡が進むべき目印はありません。そこで私たちは、まるでカーナビゲーションのように、内視鏡を挿入すべき方向を示すシステムを大原総合病院放射線科、北海道大学、岐阜県立医療センター、オリンパスメディカルシステム社とともに開発してきました。

以前から、CTで得られたデータを利用して仮想内視鏡画面をコンピューター上

に再現することは行われてきましたが、仮想画像は視点が固定されており、実際の内視鏡画面とは上下や左右が一致しないため、内視鏡検査に応用がしにくいものでした。今回開発したシステムは、実際に見えている内視鏡画面と、仮想内視鏡画面を同期させることができます。したがってあらかじめCTから得られた病変に到達する気管支ルートを、内視鏡実画面とそっくり再現し、それを検査中に参照しながら気管支鏡を進めていくことが可能になりました。

今回のシステムにより、以前は診断が難しかった径が3cm以下の病変にも正確に到達が可能になり、診断率も約2倍になりました。また、病変到達にかかる時間も約半分短縮可能になりました。臨床に応用し有用であることも証明され、その成果は最近の海外の学会誌にとりあげられました。私たちはさらによいものになるように今後も改良を重ねて行く予定です。



## 4. 脳と神経の外科(脳神経外科)の紹介

脳神経外科

講師 松本 正人

脳神経外科は脳の病気を扱う診療科であることは知られていますが、脊髄や末梢神経の病気も扱う診療科であることは意外に知られていません。脳神経外科とは脳・神経外科であって、脳の病気のみを扱う、いわゆる脳外科ではありません。したがって、対象とする病気の範囲も広く種類も多岐にわたるため、すべてを列挙することはできませんが、代表的なものとしては、脳腫瘍、脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、頭部外傷、先天性脳疾患などがあります。

それでは、どのような症状があったら脳神経外科を受診すればよいのでしょうか。

意識がなくなったり、手足の力が弱くなったりして救急車で救急センターを受診して脳神経外科に入院する、といったかたちで受診する場合はもちろんですが、まずは内科を受診して、必要があれば脳神経外科に紹介してもらおう。このようなかたちもあります。しかし、われわれ脳神経外科は、すべてが外科、すなわち手術の対象となる病気のみを扱う診療科ではありません。したがって、最初に脳神経外科を受診されても問題はなく、必要であれば他の診療科に紹介しますのでご心配は要りません。脳神経外科といいますと、症状が重篤でないと思えないというイメージでとらえられる方もいらっしゃるかもしれませんが、そうではなく、たとえば、めまいや頭痛といったごく普通にだれでも経験する症状でも中には脳腫瘍や脳卒中の初期症状のこともありますので、気軽に受診されることをお勧めいたします。



## 5. 会津マスクワイヤゴスペルコンサート

すがすがしい秋晴れの風吹く中、玄関ホールでコンサートを開催しました。目の前に現れたのは背中に「風は思いのままに吹く」のロゴ入りのTシャツを着た会津マスクワイヤ(AMC)の皆様。AMCは会津若松市栄町にある教会を拠点として活動している総勢60名の合唱団です。一緒に活動している会津こどもワイヤ(ACC)は全国でもめずらしい、こどもゴスペルワイヤです。歌が始まると会場は静まり、流れる歌声に引き込まれました。テンポのある曲、バラード、子供たちの歌声が心に響き、感動を与えてくれました。歌の合間に代表の片岡氏のメッセージも温かいものが伝わって来ました。アンコール曲の「My Life Is In Your Hands」では涙ぐむ人もみられ、改めて歌の持つ力のすごさを感じました。

気がつくと会場は満員、延べ200名近い参加者でした。患者さんから「良かった」「感動した」と言う言葉をいただき、コンサートを通し感動と癒しと勇気を与えてくれたAMCの皆様にご感謝申し上げます。  
(看護部自治会)



## 6. 退院後の療養生活について、お手伝いをしています!

「病気を抱えた療養生活」は、入院中では想像できないこともあります。お一人暮らしの方は勿論、ご家族がおられても日中はお一人で過ごされる方、退院後しばらくはサポートを受けないと療養生活が難しいと考えていらっしゃる方など、患者さまによって退院後の生活は様々だと思います。また、今回の病気で、大きく生活様式を変えなくてはならない方もいらっしゃると思います。



私たち病病・病診連携担当は患者さまのお一人おひとりが、退院後の療養生活を少しでも安全で安楽に過ごしていた

だけるように、お手伝いをさせていただきたいと考えております。退院後の療養の場の選定や様々な制度の活用について、相談員とともに、患者さまやご家族のご希望に添えるように日々支援を行っています。

「退院後の生活で誰かにサポートしてもらえる制度は?」「治療費や今後の通院費が心配だ!」「介護保険制度について教えて欲しい…」など、何でも結構です。ご相談ください。病病・病診連携担当が主治医や担当ナースと協力しながら、お手伝いをさせていただきます。お一人で悩んでいないでご相談ください。なお、支援によっては時間がかかることもあります。入院中で「早すぎる」ことはありません。いつでもご相談ください。  
(病病・病診連携担当)

## 7. こんにちは、守衛室です。

守衛室をご存じですか。守衛室は病院1階西側の救急入口の側にあります。守衛室には常時4名の警備員が常駐し、病院内・外の警備を行うほか、おみやり駐車場の利用についての相談や、平日時間外と土日には面会受付や病棟案内の業務を行っています。

服装からはちょっと近づき難い感じを持たれる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。「気は優しく力持ち」をモットーにしておりますので、困ったことがあればお気軽にお立ち寄りください。



また、これから年末にかけては盗難が発生しやすい時期ですので、病院にお越しの際は、車のドアはロックし、貴重品やバックは身の回りから離さないようお願いいたします。

## 8. 「きいてください 院長さん」の投書箱から

最近の改善事例と取り組み状況を紹介させていただきます。

「病棟の流しやトイレに置かれている『ゴージャ』という殺菌消毒薬が、手洗いの石けんと間違えて使用されている。使用方法についての表示が必要ではないか」という投書がありました。「ゴージャ」はジェル状の消毒薬のため、手洗い石けんと間違いやすいところがありましたので、使用方法についての説明書をつけることといたしました。

また、「面会の人が大きな声で話していることが、気になる。小さい声で話してほしい。」というものがありました。入院されている患者さんは、いろいろな症状を持っています。面会する際の会話の声の大きさを控えめにするなど、同室の患者さんに御配慮をお願いいたします。



これからも、サービス向上に努力してまいりますので、今後とも忌憚のないご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

## 9. コンビニ「ローソン」のオープン

平成19年8月31日にコンビニエンスストア「ローソン 福島県立医科大学附属病院店」が病院棟1階に出店しました。営業時間につきましては、年中無休で24時間営業となっています。また、ローソンでは11月21日に病院食堂入り口付近に、焼きたてパンを中心とした「ベーカリー」を出店する予定です。店舗に投書コーナーが設けてありますので、ローソンに対するご意見、ご要望がございましたらお願いします。



ローソンで通常取り扱っている商品以外のものも、取り揃えております。病院内で過ごされる皆様方が「便利になったな」と思っしてほしいというのが私たちの願いです。お気づきの点がございましたら、お気軽にお申し付けくださいませ。ご要望にお答えできるように進化し続けてまいります。

**焼き立て ベーカリー**  
11月21日(木) OPEN!

ローソン福島県立医科大学附属病院店(1Fエレベーターホール内)  
ローソン福島県立医科大学店……………(緑野厚生館内)

スターバックスコーヒー福島県立医科大学附属病院店

営業時間 平日 7時～20時  
土日祝 9時～19時

アメリカシアトル生まれのスペシャルティコーヒー豆から抽出したエスプレッソがベースのバラエティ豊かなエスプレッソドリンクやバスター、サンドイッチをお楽しみいただけます。